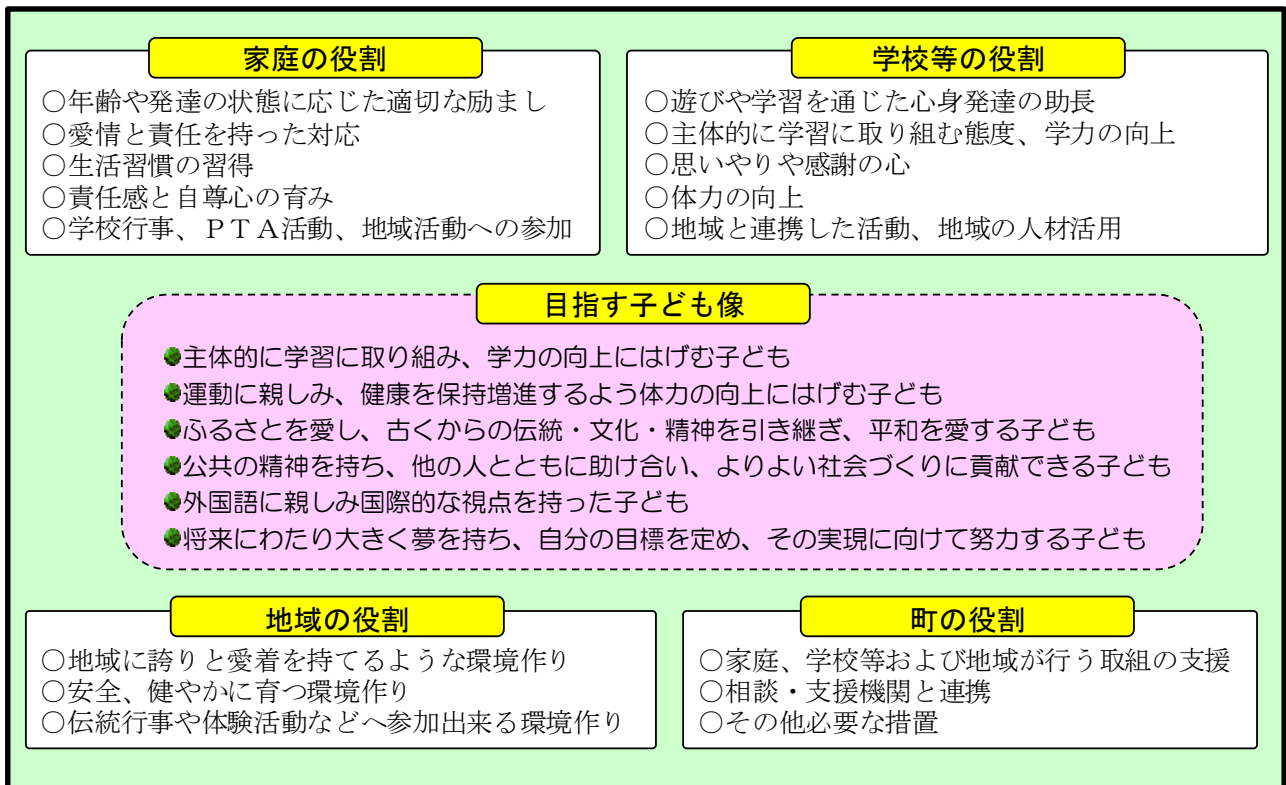


### Ⅲ 子ども育成条例について

金ケ崎町子ども育成条例は、平成27年4月1日から施行されました。

この条例は、子どもの育成について基本理念を定め、家庭・学校等・地域・町の役割を明らかにすることにより、もって自立する子どもの育成に寄与することを目的とするものです。家庭、学校等、地域及び町が協力し、金ケ崎町の未来の宝である子どもを育みましょう。



#### 第一小学校で試行！ 一定の成果を確認

施策の一つである「子どもはげまし制度」の試行として、第一小学校児童6年生を対象に、平成27年9月から11月を取組（チャレンジ）期間とし、その後、児童の取り組んだ姿勢を認め励ますため、平成28年2月にチャレンジ賞授与式を実施しました。

児童へのアンケート調査結果やアドバイザーの方のコメント、担任の先生の感想などから、一定の成果が認められたととらえられます。

#### ■児童へのアンケート結果より（抜粋）

1. 「この取り組みは今後の生活に役立つと思いますか？」

⇒「とても役立つ」：73%、「まあまあ役立つ」：27% ……合計100%

2. 「賞状と記念品をもらった感想は？」

⇒「とてもうれしい」85%、「まあまあうれしい」：12% ……合計 96%

### ■児童の自由記述から（抜粋）

1. 取り組み始めて1ヶ月半位たったら、取り組みの成果が感じられたので、この制度は良いと思いました。
2. こういう取り組みがあると、決めた目標を一生懸命頑張れるし、その決めた目標も上達すると思うから、とてもよい取り組みだと思う。
3. いつもはあまりやっていたことをやってみると、親は毎日掃除などの仕事を大変なのにやっていたことがわかった。
4. 家族のみんなに喜んでもらったり、お母さんに評価してもらい、とてもうれしかった。
5. 6年生になると忙しくなって、時間を作っていくのが難しかった。



### ■アドバイザーのコメントより（チャレンジシートへの記載から）

1. 頼んだ仕事もきちんとやってくれてとても助かりました。これからも、手伝い、部屋の掃除をがんばってもらいたいです。
2. 体力をつけるという目標に向かって3ヶ月間取り組めたことは、とてもよかったと思います。
3. 目標をあきらかにしても達成に向け意識し続けることは簡単ではないが、家族やアドバイザーが知っていることで、時には自らやったり時には声をかけられたりと・・・みんなで取り組めた。これからも続けることで「本当の当たり前」になると思います。



### ■担任の先生から

1. 校内に掲示したり、アドバイザーにもチャレンジシートを渡したことで、常に目標を意識して取り組む子どもが多く、家庭学習に意欲的に取り組んだり家庭で手伝いをよくやっていた様子が見られた。
2. （保護者やアドバイザーからは）手伝いを自分の仕事として責任をもってやってくれたので、とてもよかったという意見が多数あった。
3. 一人一人の目標・取り組んだことが書かれた賞状だったので、子どもたちがとても喜んでいました。また、メダルについても大事にしたいと話していた。

### ～今年度の予定～

昨年度、第一小学校で行った試行結果をもとに、今年度は町内全小学校の6年生を対象に下記のとおり実施予定です。皆様のご理解とご協力をお願いします。

- 4月 学校、関係団体等への説明・周知
- 5月 学校担当者（副校長、6年担任）への説明会
- 6月 チャレンジシートの作成
- 7～9月 チャレンジ（取組）
- 10月 評価・取りまとめ
- 11月 教委取りまとめ・集計
- 12月 チャレンジ賞授与式

### 地域の皆様へのお願い

子どもたちは、自分の目標を達成するために「アドバイザー」をお願いする場合がありますので、もし依頼がありましたら、快くお引き受けくださるようお願いいたします。

子どもたちの頑張りを見て、はげまし（声かけ等）を頂くことが主な内容となります。よろしくようお願いいたします。

